



# Illustrator® イラストレーター勉強会

今回、グラフィックデザインソフト「Illustrator」の勉強会という事で、私が森松さんの受講者の方々に講習をさせていただきました。

本来、私の専門は商品企画を行うデザイナーとして仕事をしているのですが、企画デザインの表現ツールとして、「Illustrator」を使っていますので、今回講習をさせていただくことになりました。

合計6回、各人2回ずつ参加していただきましたが、自分としては使い慣れているので無意識に使うのですが、人に教えるとなると勝手に違っていて、人に伝えるという事がどれだけ難しいかを実感しました。教える立場で逆に教えてもらったと思います。

成果の方は皆さん様々ですが、「Illustrator」というソフトに触ってもらって興味を持ってもらえれば、と思っています(非常に奥が深いソフトです)。物作りの過程でよく使われているソフトですので、仕事の中で活用していただけたと思います。ただ、あまり上手くなりすぎてもらうと、私たちの仕事が無くなってしまおうと困りますので程々にして下さい(笑)。

今回の講習を通じて、私も新しい事へチャレンジする事の必要性を強く感じました。皆さん、お疲れ様でした。



企画・デザインはおまかせ下さい

ワイズ プランニング  
ファクトリー

代表 山下 喜美



参加者：牧野、光田、岩間、安井、吉岡、加藤、伊藤、山内、松井、大和田、妹尾、梅田

## 「海外進出6年目を迎えて！」

森松が海外に眼を向けての進出第一号は中国の四川省成都市で、地元事務用品・文房具製造会社と合弁設立した「四川義信文化用品公司」(資本金20万ドルで、当社持分5万ドル)。

1997年1月に設立し、早いもので5年が経ちました。合弁企業から、直接の利益還元がないのは残念ですが、多くの経験と知識を得る事が出来ました。社内にも一応の海外取引きに対する基礎的な体制が構築出来、今後の海外取引、進出の道が開けたと思っています。

今年秋までに第二号の海外進出を計画し、詳細は近々波紋にて報告いたします。閉塞感ただよう国内経済の中、日本国内だけを販売ターゲットにするのではなく、海外市場を視野に入れて商品開発・販売を計画・実行するときに感じていきます。

I・T時代になり、地球がせまくなった今日、従来とは違う発想・アイデアが求められる時代になりました。経済の環境に順応した経営戦略を進めていく所存です。

社員の皆さんも、個々どのように対応すれば自分自身がサバイバル出来るかを真剣に考えて頂きたい。



自分の心の中、考え  
方から構造改革を始め  
よう。  
会長 森 信之

『森松USA社内報』

「メッセ・フランクフルト見学記」

NYからフランクフルトは6時間の時差、約10時間のフライト。飛行機はU航空のHPで確認すると、昨年私の住んでいける機はU航空に墜落したA Bという同型飛行機。今パイロットも乗りたがらないというこの機体避け、30人乗りプロペラ機にてJFKからワシントンDCへ飛び、(約一時間)そこからB社の機体でフランクフルトへと向かう。

フランクフルトは人口70万にも満たない都市。新通貨ユーロの中央銀行が設置されており、歴史的にも欧州金融の中心としてロンドンに継ぐ地位である。ホテルは通常の三倍の値段。広州交易会の方が二倍でまだマシだった。国際空港は中央駅まで電車で20分。展示会場もそのすぐ隣の駅。それ以外に見るところといたらゲーテハウスしかないようなので、フランクフルトで毎年展示会をするというのは非常にシビアな商売の世界に浸かる事ができるだろう。展示会では65ユーロの入場料。ほぼドルと等価なので計算しやすいが物価的にはNYとほとんど変わらない様子。しかし全ての食事に関して「アメリカンサイズ」というのは本当にアメリカだけの大ききである実感。ドイツでコーヒー大サイズを頼むとアメリカの小と同じ大ききが出てきた。そういえばこちらは人間もみな普通の体型をしているようだし本当にアメリカ文化というのは恐ろしい。

さて、肝心の展示会だがISOTでは見られないようなセンスのいい展示ブースはもろろんのこと香港、台湾、中国の中華系、また、マレーシア、タイ、シンガポールの、はたまたネパールとして何売ってアジヤ勢の売り込み日本は果たして何を売っていくのか?という製造業の将来だけでなく日本経済そのものについて心配せざるを得なかった。私たちがはなかなか変わらない性格のようなので、また黒船か原爆を待たねばならないのであろうか。

森松はトップの考え方が「黒船」か「原爆」へと変わりつつありますが?

「ご意見ご感想ご質問は」

naoki@morinatsu.net

社長 森 直樹



『ネットロア』

「インターネット上の民話」II「ネットロア」というのが広がっているそうで、それから生まれた「世界がもし1000人の村だったら」という本がベストセラーになっています。いたずらメールの「チェーンメール」とは違って、心温まるメッセージを転送の輪で広げていくものだそうです。

その「ネットロア」から生まれた「世界がもし1000人の村だったら」という本はどちらかといえば「絵本」で、世界には63億人の人がいます。それを1000人の村に縮めると：という内容です。その村の内容は次の通りです。

- \* 女性は52人で男性は48人です。
- \* 30人が子供で70人が大人です。そのうち7人がお年寄りです。
- \* 70人が有色人種で30人が白人です。
- \* 20人は栄養失調でそのうち1人は死にそうです。でも15人は太りすぎです。

- \* すべての富のうち6人が59%を、74人が39%を、20人が残りの2%を分け合っています。
- \* すべてのエネルギーのうち20人が80%を、80人が20%を使っています。

- \* 1人が大学の教育を受け、2人がコンピューターを持ち、14人は字が読めない。
- もしあなたがこのメールを読める環境にあつたならあなたは本当に幸せなのです。
- そしてあなたもこの村に生きています。
- そして今、この村を愛することを知ったなら、まだこの村を救えるのです。

私たちは63億人の1人だと考えた時、無力な自分を感じますが、1000人のうちの1人であれば何かできるのではないかと思ってしまう。そんな勇気を与えるような本ではないかと。日本は景気が悪いといいますが「それを恵まれた国」なのだという環境を忘れてしまっています。そんな環境で甘えている我々が20人の栄養失調の人に「俺は頑張っているんだ」と言えるんです。か。たまたま日本に生まれただけではないのですか。もし栄養失調が当たり前の国に生まれていたら何が出来るのでしょうか。生きるということをもっと真剣に考えているのではないのでしょうか。

いのでしようか。とても短い本なんです、自分の存在をあらためて感じさせていただきました。

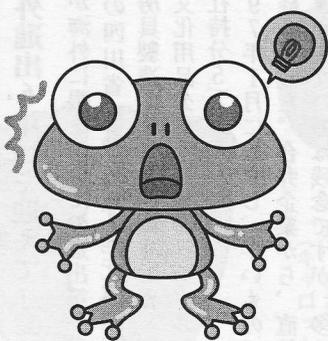
牧野 光昌(キャロット)



『新しい環境』

今シーズンより、プレスからNCへ移動して環境(仕事のやり方・段取り)が変わりました。やはり、仕事をできる人だと「気がきく」仕事をする人だと感じます。逆に仕事のできない人に共通することは、意味のないフォロワーに時間を費やして振り回される、又、目先の事だけしか見えないから、自分は何をしていいか、何をしなければならぬかという、仕事の流れが解らないくなる。また、仕事のできない人は自分の仕事の流れを把握していないから、叱られたら言い訳ばかりで、従って、次の仕事も同じ様な、その場凌ぎの無駄な努力浪費型になる。救われる道は、気がつくよう

身に付けることとしかありません。西垣 浩司 (ポピー)



# 1月18日:大阪工場見学

◇金子商店:金子氏その他の皆様方のご配慮により、再生塩ビの製造工程の見学に出発する。

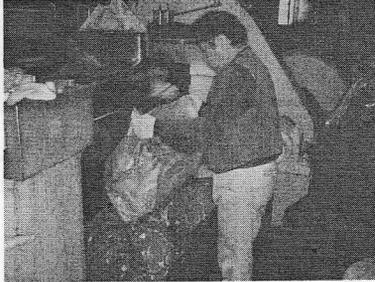
〈見学先〉

- 1) 愛知合成(株) 2) 金子商店 3) 鶴城商会 4) 大栄(株) 5) 信栄商会 6) (株)ピニテック

〈参加者〉 井上・稲葉

今回の見学は再生塩ビを主としてPPの粉碎工場・スクラップ(塩ビ裁断・抜きロス)の仕分け業者など見学して来ましたが特に印象に残ったのは、再生塩ビ工場でした。

再生塩ビ工場は、大栄(株)・(株)ピニテックの2ヶ所を見学させていただきました。各工場ごとに設備・作業の流れなどは、大体同じでしたが大栄(株)さんは、賃練という方式で金子商店さんのような業者さんの注文を受け、材料を加工する工場でした。



大栄(株)さんの製造の過程は以下の様です。

・再製軟質塩ビシート(色物:赤色)の一からの製造工程を見学させて頂きました。

①練りロール

さまざまな塩ビの端材より、一定の色素材(黄、赤などのシート)を集めて練りロールにかける。見学時は、180キロの赤色シートを1時間程でゲル状の厚さ3センチほどの板にする行程を見る。蒸気で160度に加熱された2本のロール(2cmほどの空間がある)の間へ材料を何回も通して粘土状にして行く。

※練りロールの回転数は、1分間に22回転とのこと。

この段階で、硬さ、色(顔料なども入れて色も最終調整)も決定されるのだが、職人さんの熟練技術だけで仕上がられていく手順の中で、最後の色の決定では、練り物を少し取り、歯でかんでシート状の薄さにして、色味を見ているのには驚嘆した。

の色の決定では、練り物を少し取り、歯でかんでシート状の薄さにして、色味を見ているのには驚嘆した。

②配合ミキサー

バージンから作るとき配合器で、原料、可塑剤、顔料など仕上る商品の原料をあわせてミキサーにかける。

③パンナリーロール

練りロールでゲル上になった原材料を、再度、加熱と圧力で再練りをかける。

処理能力が早く60kgのゲルを2分で練ってしまうとのこと。

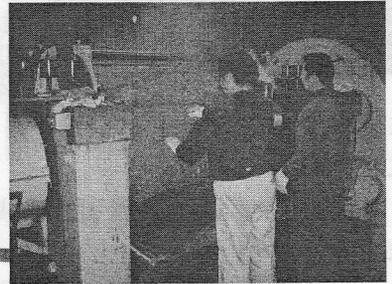
④切り込みロール

カレンダーに送り込むために、一定の幅に切り込んだテープ状にして送り込む。

⑤カレンダー

塩ビシートの製造機で、24インチの160度に加熱したロールの間を材料を通して、シート状にされる。圧延された最後の行程でエンボスロールでシボなどがつけられ、クーリンロールで冷やされて巻き取られ、シートロールの製品になる。

※カレンダーの生産能力としては、生産するシートの厚み・シボ・生地幅に異なるが、概算1日8t、1時間あたり1tトが目安とのこと。



またピニテックさんは自社で機械を持ち、材料を加工する工場でした。

特に練りロールという機械で、再生塩ビシートの原料(塩ビスクラップなど)を160℃のロール2本でゲル状に練りまた規格の色を顔料を加え練っていくその道40年の職人さんの技にはとても感動しました。

## 『ハリー・ポッター読みましたか?』

昨年の12月に「ハリー・ポッターと賢者の石」を読み始めて、すぐにハマってしまいました。次に「ハリー・ポッターと秘密の部屋」を読み、その次に「ハリー・ポッターとアズカバンの囚人」まで読んで、さらに映画まで見に行きました。

すっかりハリー・ポッターに夢中になってしまい、知らない人から見れば何がそんなに楽しいの? って言う状態におちいつていると思います。

ましてや映画のみに見ている人にとつては、不思議に思われるかも知れないですよ。(私は映画の方があまり面白くなかったからですけど。)

自分でもこの状態にびっくりしていたのですが、周囲にも結構、ハリー・ポッター好きな方がいらっちゃいます。1巻目を読んで2巻目も3巻目も面白さが増えつつけるのはすごいと思いました。

私には想像もつかない百味ビーンズの味。グリーンゴッツの魔法銀行。耳が痛くなりそうな吼えメール。などなど、考えもしない事がどんどん出てきます。4巻目はどんな新しい魔法が出てくるのか楽しみです。

良いマガルでいられ続けるように...と思いました。

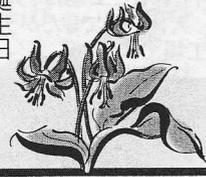
大和田 夕美

(とうもろこし)



2002年

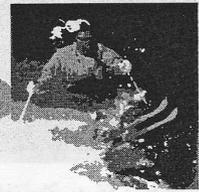
3月の予定



- 6日(水) 坂井田さん誕生日
- 9日(土) 第二土曜休み
- 12日(火) 森セミ  
18時00分～21時00分
- 14日(木) 生地卸・講演会  
成瀬さん・松井さん誕生日
- 16日(土) 第三土曜休み  
12時00分～17時30分
- 18日(月) 長崎ひとみさん誕生日  
誕生会(4F和室)
- 20日(水) 直樹社長誕生日
- 25日(月) 経営会議  
7時30分～8時30分
- 26日(火) 編集会  
15時00分～16時00分  
18時00分～  
生産会議  
18時30分～
- 30日(土) 久保田さん誕生日
- 31日(日) 第五土曜休み



### 永年会スキーツアー



2月9～11日志賀高原へ永年会主催のスキーツアーに参加させていただきました。宿泊場所は一昨年と同じアспенと言うロッジに泊まりました。温泉もあり、

またジャイアントゲレンデが目の前という、場所的にも非常に良いところです。

吹雪いて寒いときも有りましたが、最終日は良く晴れてポチポチのスキーコンディションでした。2日目の日に私自身が皆さんとはぐれてしまい、心配をお掛けしましたが、偶然ゲレンデで再会できホットしました。

道は行きも帰りも渋滞もなく、無事帰って来ることができました。

皆さんも参加されてはいかがですか。雪質も良く気持ち良いですよ。

伊藤 雅典 (ポテト)



### 編集後記

先日、友人に誘われて足ツボマッサージを体験しました。以前から一度やってみたいなと思っていたので、痛そうなので自分から行く気にはなれませんでした。

初めての事なので、すぐドキドキしました。特に何も使わず、指で足の裏のツボを押していました。気持ち良いと感じる時もありましたが、痛いなど思った所の方が多かったです。痛いなど思ったらすぐに、身体のどこが悪いのかを教えてくださいました。そのほとんどが私の気になっていた所だったので、ツボを押しただけで本当に分かるんだなと思いました。

約1時間で終わりましたが、終わった後は足が軽くなったような感じがしました。一度だけでは効果が出ないので、出来れば続けていきたいなと思いました。



小坂 美香 (キャロット)

